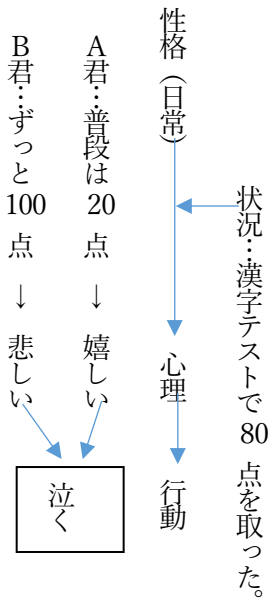


状況を読み解く公式を思い出そう!



- その1 小説に書かれているのは基本的に行動
- その2 行動は次の状況にもなりうる
- *主人公の行動に線を引きながら読もう!
- その3 行動や状況から心理状態を予測するが、心理状態は、性格(普段の様子)によって異なる。

主人公は…シホ

当時の年齢 (小学三年生 五字)

(想像力 三字) たくましい年代

舞台となる場所 (雑木林 三字)

(想像力 三字) をかきたてられる場所

状況	心理状態	行動
<p>P19 小柄なおばあさんに出会う 真っ白い髪・顔 (連想)</p> <p>いつかと同じように 小さな毛糸人形を こしらえていた。</p> <p>祖父の死 初めて経験する身 内の死</p>	<p>… (妖精 二字) に出会ったと思う。 考えよう!</p> <p>五感から得た情報や観念から、他の 事物や概念を思い浮かべるという意 味の二字熟語です。</p> <p>P21 雑木林の枯れ葉の (甘い) 匂い *何が変化 *雑木林の持つイメージの変化 意地悪な妖精のイメージは消えていた</p> <p>恐怖 衝撃 悲哀 等 考えよう!シホの心情は?思いつく限り</p>	<p>そろそろと後ずさる</p> <p>父親に報告 本当か嘘かという対になる意味を表す二字 の熟語。同じ構成の語に、強弱など</p> <p>P20 (真偽) を確かめに 一人で出かける。</p> <p>P20 (けらけら) 四字)と笑う。 雑木林へ日参する。</p> <p>うつむき続けた おばあさんことを忘れたかのように 雑木林から足が (遠のく)。 「行かなくなる」という慣用句</p>

状況	心理状態	行動
<p>二年半後 たまたま病院を訪れる。</p> <p>修道女の話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんは毎日のように雑木林に行っていた。 ・どうしても渡したいもの(長い日数をかけたにしてはあまりにも小さい手袋) 	<p>考えよう！シホの心情は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当に忘れていた？ ・実はずっと気になっていた？ <p>私がそう考える理由</p> <p>考えよう！シホの心情*漢字一字</p> <p>おばあさんが手袋を編んでくれたこと、シホのことを思っていたことに感(謝)し、雑木林に行かなくなったことを(謝)りたい。</p>	<p>「やっぱり聞いてみようっと」</p> <p>「気軽そうに小窓を覗き込んだ」</p> <p>かすかなおえつ</p> <p>「会いたい」</p> <p>すぐさま走り出そうという気配。</p> <p>雑木林へ寄っていきたい</p>

① 「気軽そうに小窓を覗き込んで聞いた」ときのシホの心情はどちらが近いだろう？自分がそう考える根拠を教科書の部分を参照しながら、説明しよう。

本当に忘れていた

・およそ二年半後の春、おばあさんのことを思い出したのはとあるから、本当に忘れていた。

・祖父の死後、本当に忘れてしまったのかもしれないと思うような自然さで遠のいたとあるから、祖父の死のショックで本当に忘れていた。

実はずっと気になっていた

・「やっぱり」という言葉から、ずっと気になっていたのに違いない。

・忘れたわけではなく、祖父の死のショックから、おばあさんもいずれ死ぬという事実恐怖を感じて離れていただけに違いない。

② シホにとって「手袋」が象徴することは何だろうか？

今、大連にいますかと思っているところからも、おばあさんの時は止まっている。小さな手袋は、シホが大きくなったことを閉めてしており、過ぎ去った時間の長さを象徴している。